

◇ 標準塗装仕様書 ◇

AGCコーテック株式会社

◇工法名	ボンフロン太陽熱高反射率 水性C-SR工法(塗替)		
◇適用素地	既存塗膜 ルミフロン系フッ素樹脂塗料 (無機系素地) ※外壁専用		
◇使用材料	下塗	ABF#770プライマー	14.0 kg/缶
	中塗	ボンフロン水性サンバリア中塗(艶消)	15.0 kg/缶
	上塗	ボンフロン水性サンバリアSR上塗	15.0 kg/缶

工程	使用材料	調合 主剤:硬化剤	希釈率 (%)	標準所要量 ^{注1} (kg / m ²)	塗 回数	塗装間隔(23℃)		施工方法		
						工程内	工程間			
素地調整	高圧水洗、脆弱部及び劣化塗膜の除去(活膜は残す) 活膜部は表層目荒し(サンドペーパー#180~230)									
1	下塗	ABF#770プライマー	-	既調合	0.10 ~ 0.15	1	-	16h以上 ~ 7D以内	刷毛 ローラー スプレー	
2	中塗	ボンフロン水性サンバリア中塗(艶消)	-	清水	0 ~ 5	0.13 ~ 0.18	1	-	4h以上	刷毛 ローラー スプレー
3	上塗	ボンフロン水性サンバリアSR上塗	-	清水	0 ~ 5	0.13 ~ 0.18	1	-	-	ローラー スプレー
合 計						3				

注1) 標準所要量については、各種施工方法の塗着効率を下記として算出しております。

施工種	塗着効率(%)
刷毛, ローラー	80~100
エアレススプレー	60~80
各種吹付けガン	50~70

注2) 塗装間隔の時間は、雰囲気温度が23℃での結果を記載しております。

従って、実施工においては現地の雰囲気によって変動します。

注3) 適合素地は、残っている旧塗膜層の躯体との付着性が施工前の調査で確認していること。

(事前の調査は、塗膜だけでなく躯体の劣化状態並びにシーリング等の防水状態も充分確認して下さい)

注4) ボンフロン水性サンバリアSRは、標準所要量を下回りますと意匠的には仕上がりますが、十分な耐久性能が得られなくなります。

また、低汚染性付与の目的で使用するボンフロン水性サンバリアSRは、通常タイプのボンフロン水性W#1500より造膜までに時間を要しますので、塗装初期の降雨や結露等の水分には曝されないようにして下さい。

※ 水性塗料を使用する際は、低温下の凍結・素地の含有水量・降雨等で造膜不良を生ずる恐れがありますので作業環境には充分注意して作業を行って下さい。

※ 塗装工事における留意点については「塗装工事における留意点(水性)」を参照ください。

※ 旧塗膜と新規フッ素樹脂塗料の適合表

新規塗膜		旧塗膜		
		ルミフロン系フッ素樹脂塗料 (硬質タイプ)	カイナー系フッ素樹脂塗料 (硬質タイプ)	・その他仕上げ塗材 ・複層仕上塗材
下塗	上塗り			
ABF # 770プライマー	水性フッ素樹脂塗料	○	-	-
	弱溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	-
	強溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	-
ABF # 720プライマー	水性フッ素樹脂塗料	×	×	×
	弱溶剤フッ素樹脂塗料	-	-	-
	強溶剤フッ素樹脂塗料	-	●	-
ボンサーフェーサーE	水性フッ素樹脂塗料	×	-	○
	弱溶剤フッ素樹脂塗料	×	-	-
	強溶剤フッ素樹脂塗料	×	-	○
ボンHBサーフェーサー R	水性フッ素樹脂塗料	○	-	○
	弱溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	-
	強溶剤フッ素樹脂塗料	○	-	○

○: 適合

●: 試験塗装による塗膜密着性確認が要

×: 不適合

—: 未確認